

コンサートで熱唱
するカンプレ45



秋田の男声コーラスカンプレ45大人気

「出前型の歌声喫茶」昭和歌謡に海外民謡

昭和の歌謡曲や海外民謡を聞かせる秋田の男声コーラスグループが、観客の元に出向く「出前型の歌声喫茶」で人気を集めている。慰問コンサートなど約50公演をこなした「カンプレ45」。リーダーの佐々木昌良さん(68)は「高齢にはなったが、美しく懐かしい歌で、聞く人に元気を届けたい」と意気軒高だ。

2月24日、活動3周年記念に秋田市で開いたコンサートは、400席が埋まった。「あの素晴らしい愛をもう一度」や、

1972年札幌冬季五輪のテーマ曲「虹と雪のバラード」など20曲超を披露。舞台横のスクリーンに映る歌詞に合わせ、観衆は思い思いに口ずさんだ。メンバーは、音楽コンテスト「ポップコン」への応募経験もあるバリトンの昌良さん、テノールの佐々木淳一さんと小坂信男さん、バスの渡辺昭夫さんに加え、マネジャーの宇佐美均さんの5人。全員が秋田高校(秋田市)の同級生。公演では、必ず秋田県民歌を歌うのがこだわりである。